

ピグミーシーホースと上手に付き合おう！

ピグミーシーホースは、体長1.4~2.7cmほどのとても小さな生き物です。なかでも、バーギバンティーとデニースピグミーシーホースの2種類は、ヤギ科のウミウチワにのみ生息しています。とても小さいピグミーシーホースが生息する繊細で傷つきやすいウミウチワは、常にダイバーに傷つけられてしまう危険にさらされています。私達ダイバーが、この小さな希少動物に与える影響を最小限に押さえるために作られたこのガイドラインを参考にしてください。



デニース
ピグミーシーホース
(*Hippocampus denise*)

ホスト
8種類のウミウチワとムチャギで存在が確認されています

見分け方

- ・全長は最大で2.4cm
- ・細長い鼻
- ・体の表面は、ポツポツまたはすべすべ
- ・ピンク、赤、白、黄色とカラーバリエーションは様々



バーギバンティー
ピグミーシーホース
(*Hippocampus bargibanti*)

ホスト
ムリチェラというヤギ科のウミウチワ

見分け方

- ・全長は最大で2.7cm
- ・バグのような低い鼻
- ・体全体に色濃いイボがある
- ・体はピンク、赤、黄色でイボは少し濃い色をしている

ウミウチワ

・バーギバンティーピグミーシーホースとデニースピグミーシーホースの成魚は、一生を直径30cmほどのウミウチワで過ごすため、彼らの家であるウミウチワは生きていくうえでなくてはならないものなのです

・ウミウチワの成長はとても遅く、数メートルに達するまでに100年以上かかります。

・ウミウチワはとても繊細なため、たとえ触れただけでも簡単に壊れてしまいます。

脅威

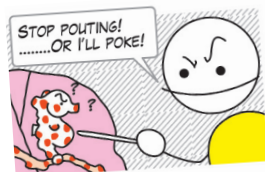
・ピグミーシーホースは、タツノオトシゴ属の中で個体数が一番少ない生き物です。

・一番の脅威は、生息地の崩壊とダイバーが与える影響です。

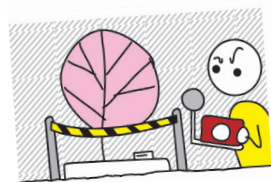
ガイドライン

このガイドラインは、100時間以上に及ぶ行動科学リサーチとダイバーがピグミーシーホースに与える影響を観察した結果に基づいて作成されました。

ガイドライン



ダメージを与えてしまうだけではなく、殺してしまう可能性もあるため、ピグミーシーホースに触れたり、動かしたりしないようにしてください！



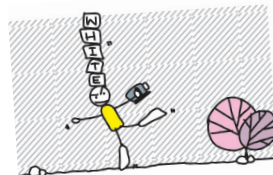
ピグミーシーホースの大切な棲家であるウミウチワに触らないでください！ウミウチワの成長はとても遅く繊細なため、特にカメラの位置や息を吐く位置に注意をしてください。



方向感覚やバランス感覚を失い、大変なストレスになるため、水中ライトやフォーカスライトなどの強い光をピグミーシーホースに当てないでください！



フラッシュを使用しての撮影は、ダイバーひとりにつき5枚までに押さえてください！それ以上のフラッシュはストレスになります。



ビデオ撮影時は強いライトを使うより、ホワイトバランスをして自然光で撮影した方が、ピグミーシーホースを動揺させず撮影できます！



ピグミーシーホースは夜眠ります。睡眠の妨げになるため、夜間強いライトを向けるはやめてください！



周囲の環境やフィンの位置に注意を払い、ウミウチワやサンゴ、ソフトコーラルなどを壊さないよう気をつけましょう！

Wakatobi Dive Resort と Walea Dive Resort、そして Murex Dive の絶大のサポートにより、このガイドラインは作成されました。
イラスト: Mean Mora - mmoraa.com
デザイン: VisarkStudio.com
お問い合わせ先: OceanRealmlImages.com または Dr Richard Smith - Richard@OceanRealmlImages.com